

強豪チームが  
鹿屋で合宿・指導



8月23日～27日、神奈川県川崎エリアと東京エリアを本拠地とする女子プロバレーボールチーム「NECレッドロケッツ」が合宿のため、本市を訪れました。同チームはVリーグを7回優勝するほどの強豪チーム。3日目には平和アリーナで鹿屋体育大学女子バレーボール部との公開交流試合を行ったほか、市内3高校の女子バレーボール部に技術指導を行いました。

バレーボールを  
プロから学ぶ



8月18日～20日、女子プロバレーボールチーム「久光スプリングス（佐賀県）」が合宿のため、本市を訪れました。19日には市体育館で鹿屋体育大学女子バレーボール部との交流試合を行った後、バレーボールクリニックを実施。市内スポーツ少年団のほか、タイ王国からトゥソン市ジュニアバレーボール選手団も参加し、プロ選手から直接指導を受けました。

地域課題を考える  
高校生が提案



8月18日、リナシティかのやで「高校生が未来を語る会」が開催され、Uターン者で本市で活躍する一村彩子さんが自分で未来を切り開く方法について講話しました。また、参加した17人の高校生は、本市を発信するキャッチフレーズ「わっぜYOKANOYA! ～食・史・人のまち～」[食王国鹿屋～NO KANOYA FOOD NO LIFE～]「人の手で創られていないものこそ人の心を奪う」を作成しました。



かのやのホットな話題をお届け!

地域の伝統芸能を  
次世代に伝える



8月26日、コミュニティセンター吾平振興会館で「美里あいら伝統芸能発表会」が開催されました。これは、吾平に伝わる八月踊りやそば切り踊りなどの郷土芸能を次世代に伝えていくことを目的に行われたもの。当日は、伝統芸能保存団体など7団体が出演し郷土芸能などを披露。最後の演目では、会場の参加者全員で鹿児島おはら節を踊るなど発表会を楽しんでいました。

日本代表監督  
故郷で空手合宿



8月25日～27日、市体育館・市武道館で全日本空手道連盟日本代表の強化合宿が行われました。全日本監督を務めるのは吾平町出身の松元和昭氏で、第19回アジア競技大会の日本代表選手24名が参加。最終日には、地元ジュニア選手との交流事業も行われ、参加した約100人の児童生徒は、憧れの代表選手から組手や形の基本動作について熱心に指導を受けていました。

夜空に咲く大輪の  
花に感嘆の声



8月20日、始良川の月見橋上流（吾平町上名）で「美里あいら夏祭り花火大会」が開催されました。4年ぶりの開催ということもあり、約9,800人と過去最高の来場者数を記録し、どの屋台にも長蛇の列ができるなど、にぎわいを見せていました。約1時間にわたる花火では、記念メッセージを読み上げて打ち上げるメモリアル花火など、3,000発の花火が夜空を彩りました。

ピーマンで新規就農  
新たな門出を祝う



8月18日、市役所で新規就農者就農開始資金贈呈式が行われました。これは、市の研修支援制度を活用し、研修を終了した新規就農者に資金を贈呈して就農を支援するもの。藤崎和樹さん（川西町）と佐々木大地さん（川西町）は吾平町のピーマン農家で11か月間の研修を終え、今年7月から市内で就農を開始。「お世話になった人に恩返しできるよう頑張りたい」と意気込みを語りました。

本市出身者が  
全国の舞台で準優勝

8月28日、神村学園女子ソフトボール部の岩本京姫さん（3年）が市役所を訪れました。岩本さんは捕手として北海道で開催された「全国高等学校総合体育大会」に出場。チームとしては10年ぶりに決勝進出し、準優勝を果たしました。

タイムトライアル  
TTの部で大会新記録を樹立し2連覇達成

8月22日、「2023年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会兼2024年JCFジュニア強化指定選手選考会」の3km個人パーシユートの部及び1kmTTの部で優勝した入田翔選手（田崎中3年）が市役所を訪れました。

子どもたちに  
温かな食事を提供

8月21日、日本モレックス合同会社（川西町）で「molex社員食堂de子ども食堂」が行われました。これは川西町公民館で毎月行っている子ども食堂を、夏休み限定企画として同社の社員食堂で共同開催したものです。

地域の安全を守るため  
青パト隊が発足

8月21日、寿小学校で「寿小校区青パト隊」の発足式が行われました。これは、安全安心な地域づくりのために校区内の町内会を主体として結成されたもの。当日は同校児童に見送られながら4台の青パトが初任務に出発しました。

長年の感謝を込めた  
記念イベント

8月20日、市中央公民館で「中央公民館夏祭り」が開催されました。これは令和6年3月末で公民館機能がリナシティかのやに移転予定であることから、長年の利用者等への感謝を込めて記念イベントを行ったものです。

つなぐをテーマに  
高校生が交流

8月19日・20日、奉仕活動クラブ「インターアクト」の年次大会が大隅青少年自然の家で行われました。同大会には鹿児島県と宮崎県の高校生71人が参加。商店街のまち歩きや意見交換を通じて交流を広げていました。